

東海地方固有の湿地植物 —シラタマホシクサ—

8月も後半になると陶史の森の湿地に白い球体の小さな花が咲き始めます。ホシクサ科ホシクサ属の「シラタマホシクサ」です。花茎の先端に直径1cm程度の小さな花をつけ白色の短毛が密生して白い玉のように見えます。白い球形の頭花をつけるので「シラタマホシクサ（白玉星草）」の名前があります。

花期は8月下旬～10月、晩秋になるまで白い金平糖のような花が見られ「金平糖草」とも呼ばれます。

シラタマホシクサの自生地は、愛知県、岐阜県、三重県、静岡県の一部に限られており、これらの地方独特の植物群をつくる種となっています。

シラタマホシクサの生息地は急激に少なくなっているといわれます。かつては、水田のそばで水が湧き出しているような場所に普通に見られたそうですが、今では少数の湿地に点在するのみとなっています。都市開発や水田整備が進み、シラタマホシクサの生育に適した湿地が減少してきたのが原因です。環境省と岐阜県のレッドリストにおいて絶滅危惧Ⅱ類に指定されています。

陶史の森の湿地には、貴重な植物が多く生育しています。シラタマホシクサもその一つです。湿地植物にとって適切な自然環境が保たれています。今後も守り続けていきたいと思えます。



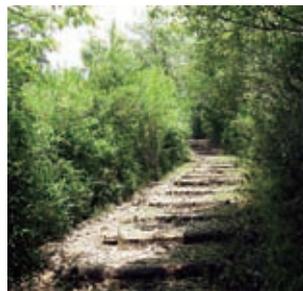
陶史の森の散策路

7月15日(水)

陶史の森には、第1駐車場を起点として半径約1kmの範囲に多数の散策路があります。「安土の道」の東側は湿地帯の散策、西側は山林帯の散策と大きく2種類に分けることができます。体力向上のコースを目指した散策や湿地の花や昆虫を観察しながらの散策、バードウォッチングの散策など、多くの方がそれぞれに楽しんでます。健康にもとてもいいですよ。



トンボの湿地の散策路



粉引きの道

教室のご案内

8月

バードウォッチング (要申込 定員10名)

8月23日(日) 午前9時～11時30分 雨天中止
夏の野鳥を観察します。

9月

バードウォッチング (要申込 定員10名)

9月27日(日) 午前9時～11時30分 雨天中止
初秋の野鳥を観察します。

今年度の「陶史の森まつり」は、新型コロナウイルス感染症対策のため中止となりました。

陶史の森は自然環境保護地域です。動植物や石などは絶対に採らないでください。また、ペットの同伴はご遠慮ください。